

目次

図版紹介

口絵1	1
「養老之図(画)」 跡見花蹊 絹本墨画・双幅 制作年 大正3(1914)年 法量 総丈202.3×65.9cm・本紙142.5×50.6cm 款記 「大正三年甲寅嘉平月寫於 天賜玉筆楼上 花蹊女史」 印章 姓名印「跡見瀧印」白文方印(「瀧」の字のみ陽刻)・雅号印「華蹊」朱文方印	
「養老之図(詩)」 跡見花蹊 絹本墨書・双幅 制作年 大正3(1914)年 法量 総丈202.3×65.9cm・本紙142.5×50.6cm 本文 「養老飛泉烟霧生 金華山色月殊清 此時此景天工妙 半入詩情半画情」 款記 「濃州客中口占 花蹊舊作年七十有五」 印章 引首印「一研黎華雨」白文長方印・姓名印「跡見瀧印」白文方印・雅号印「華蹊書畫」朱文方印	
口絵2	3
「新宮鉄道線路略図」 大正2(1913)年(寄稿筆者所蔵) 花蹊が訪れた6年後に勝浦～新宮間が開通した新宮鉄道線路略図(『新宮鉄道沿線案内』)	
ごあいさつ	5
霊地への特別な秘境旅の跡を見る	7
—明治後期「塗駕籠」に乗って世界遺産・熊野古道を往く花蹊と“山林王”土井家との縁— 跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 観光デザイン学科 元教授 小川 功	
花蹊記念資料館と新型コロナウイルス感染対策について	21
【跡見学園女子大学花蹊記念資料館】 2020年度活動報告	23
【跡見学園女子大学学芸員課程】 2020年度博物館実習について	32
跡見学園女子大学 学芸員課程 主任教授 村田 宏 (1)春学期における、通常授業時の基礎実習、一日の行程で実施する見学実習	32
(2)夏期休暇期間を中心とした学外の博物館・美術館等での学外実習	32
(3)秋学期における学外実習事後指導、および花蹊記念資料館を使用した事後実習	35